

# 龍源寺報

令和6年（2024年）春彼岸号

臨濟宗・妙心寺派	住職	佛母寺住職	正福寺住職	松原	松原	松原	樹	樹	樹
TEL	03-3451-1853								
FAX	03-3451-6094								

振込 00160-0-104918 東京都港区三田5丁目9-23（郵便番号 108-0073）

Email: info@ryugenji.com

URL: http://www.ryugenji.com

## 春彼岸におもむ

「おお モミの木よ、汝の葉はなんと誠実か。夏場だけでなく、雪の降る冬でも青々としている。おお モミの木よ、汝の葉はなんと誠実か」（ドイツ民謡「もみの木」）。ドイツの人々は、クリスマスにそう歌う。夏だけではなく、冬にもモミの木は、緑のままできてくれる。それが素晴らしいと、この詩はうたっている。禅の言葉にも、「松樹千年翠」という言葉がある（『続伝灯録』）。松の青さが千年のみどりをたたえているめでたさをいうだけではなく、松の木が千年の間絶えず、永遠不変の真理を説き続けているのに、人は一向にこの事実に関心がつかない。それは、目に見える範囲で終わらずに物事の奥に何が潜んでいるのか良く学べとよびかけでもある。人間社会が、いかに心変わりや満ちた、裏切りと不誠実の充満する世界であるかを暗示している。モミの木も松の木も、年々歳々変わらずに青々として見えるが、歳々年々、葉っぱが変わっている。変化するものの中に、変化しない道理を学んでいきたい。

もし、自分が優れた才能や容姿を備えて、何の心配事もなく、過ごすことのできる運命の星に生まれたなら、どんなに良かったかと思う人もいると思う。しかし、一見幸せそうに見える境涯も、その中には

複雑な面を備えているから、どこにおいても結局は同じようなものであるのかもしれない。いずれにしても、例えば、私が縁あってお寺で産まれたように、宿命的な生存条件の中で生きることが求められ、努力しなければならぬことは確かである。

人間の苦しみは、突如、不運や災難として、思いがけぬありさまで私たちに襲いかかってくる。また、人間関係のなかでは、他者との競争や対立、衝突や確執が生じることがあることは、誰もが心得ている。仏教が説く、愛別離苦あいべつりくという愛する者との別れの不可避という苦惱、怨憎会苦おんせうえくという会いたくない人と会わなければならない苦しみなど、苦惱は絶えがたい。けれども、たとえいかに苦惱が突然襲いかかっても、「苦とは、どうすることもできないこと」と仏教が説くように、人生とはそういうものであったのかということを知るとき、人それぞれ時間はかかるかもしれないが、苦悩を受け入れ許すこともできよう。私自身のことではあるが、先代住職が七十歳で遷化したこと、そしてさらに、今回の納骨堂建設の件で、計画から五、六年の歳月を要したことを思うと、実際、私には、思っているほどの時間はないのではないかな。そんなことをも考えるようになった。一度しかない人生を積極的に生き抜き、これからも縁と時間を大切にしていきたい。（松原信樹・龍源寺住職）

## 「寄付

金五十万円 匿名殿

ありがとうございました

※大変貴重なご寄付をありがとうございました。龍源寺の周囲が再開発される中、龍源寺を地域の文化資源の一つとして考え、先代から引き続き、境内整備に力を注いで参りたいと思います。ご支援いただける個人・団体・法人の皆様にあらかじめご協力を賜りたくお願い申し上げます。未熟者ですが、今後とも宜しくお願い申し上げます。

龍源寺住職 松原信樹

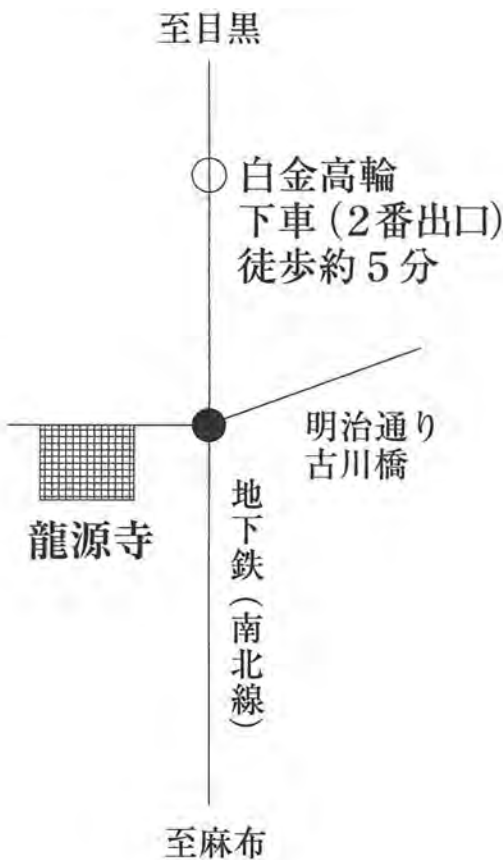
### 春彼岸会

一、三月二十日（水曜日）午前十一時

一、法話

・駐車場はありません。

南北線をご利用ください。



# 「水月堂」工事の様子

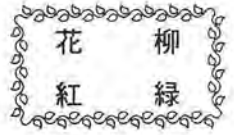
二月に入り、本格的な工事が始まりました。  
お盆の頃の完成を目指しています。



※水月堂とは、江戸期に龍源寺境内に  
実在したお堂の名称です。



Instagram を始めました。アカウントは ryugenji.zen です。お寺の行事や工事の状況などを配信していきます。皆さまフォローよろしくお願いします。



柳 緑

春彼岸会を迎えます。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

花 紅

納骨堂の建設工事が開始されました。計画から五、六年の歳月を要しました。総代の皆

さま、お檀家さまで建築家の山本哲也さま、地域の皆さま、多くの方々に大変お世話になりました。工事の状況に関しましては、龍源寺の Instagram でもあげていきたいと思えます。担当は、家内の亜矢さんです。▼今年から、小学生向けに、坐禅と読書感想文の教室を行うことになりました。読書感想文の先生は、昨年の六月に共著でお世話になった大竹稽先生です。教室は、第一日曜日午後二時から。会費は三千円で、親子での参加となります。どうぞご来会ください。▼今年に入り、中耳炎を患い左耳の聴力が著しく低下してしまい町の病院から大きな病院に通院しています。年末年始にかけて、寺族一同、体調不良が続いていましたが、おかげさまで病気も治癒し元気にお寺を護持させていただいています。▼今年も植木屋さんに、お庭に三メートル近いゴミ穴を

掘ってもらいました。境内の葉っぱやお寺ででた野菜くずなどをそのゴミ穴に入れます。丁度一年経ちますとそのゴミ穴はいっぱいになり、また、穴を掘ります。その際にできた腐葉土をふるいにかけて、お庭に使います。昨年、門を入り右側のしだれ桜が枯れてしまい、八重の桜を植えることになりました。春を楽しみにしています。▼母は朝四時に起きて、お寺の中の掃除をはじめます。外の掃除にしても、最近、龍源寺前の歩道の通行が多いので、地域の住民の皆様が通る前に掃除をします。茶道も一生懸命精進しています。家内の亜矢さんは、娘のこと、仕事のこと、お寺のことで忙しくしています。一月に羽田空港で航空機の事故があり、たまたま、娘からのアデノウイルスに罹患していたため、フライトはお休みでしたが、本来だったら、事故の翌日の同じ便に搭乗する予定だったとのこと。何が起ころかわからないので、仕事に行くときには、お互い気持ちよく家を出るよう心がけています。娘の瑞樹は、毎日学校に楽しく通っています。「先生のことも、

お友達のことも『みんな大好き』になって、何よりも毎日学校に行くことが楽しみであって欲しい」との入学の時に書いた願いがその通りになりました。ありがたいことです。四月に二年生になります。算数のかけ算を教えなければなりません。▼以前、法事の後のお齋で配膳頂いていたものの、コロナ禍に閉店した品川区中延の「秀」さんが、テイクアウト専門で折り詰め弁当を再開しました。ご利用ください。03-3787-0130 <https://hide-nakanobu.rwp.jp> よろしくお願ひ申し上げます。▼お檀家さまでお葬式をだされる場合、病院にて葬儀社を選定する際に、知っている葬儀社がない場合、「あおば葬祭」03-5722-7651。フリーダイヤル (0120-037-652) <http://www.aoba-sousai.co.jp> にお願ひ致します。龍源寺でお葬式をなされる場合の指定業者になります。丁寧なお仕事で、皆さまによるこんでいただいております。▼三月二十日(水)春分の日、午前十一時より春彼岸会を厳修致します。皆さま、ご家族でお参りください。寺族一同お待ち申し上げます。(信樹)